

2001年5月18日

Jin-Hua She

プレゼンテーション基礎・その1

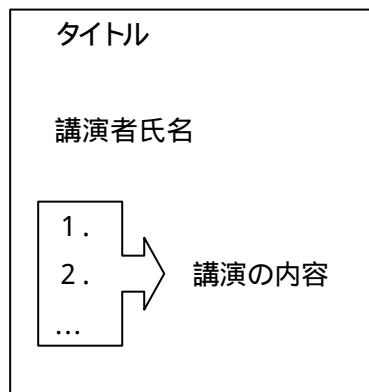
1 スライドの作り方

3分/1枚.

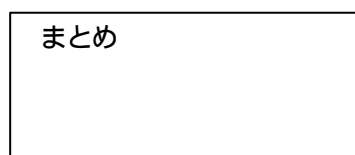
スライドは、発表内容を理解してもらうもので、単に見せるというだけのものではない。

聴衆があなたのしゃべようとするについてなにもわからないことを前提に、スライドを作成する。

1ページ目:



最後のページ:



スライドの最上段には大見出しをつける。

スライドに文章を書くのではなく、キーワードだけ書く。

文章よりは、なるべく図・表を使って説明する。

文字ははっきり見えるように大きく書く。また、図表の中の文字もすこし大きすぎるかなと思われる程度に書き込む。

2 発表の仕方

うまくしゃべろうと思わず、誠実にしゃべる。

受持ち時間内に必ず終わる。

スライドを無視してしゃべるな。

スライドに書いてある内容の順番にしたがって説明する。

文法上間違っていることに気づいても、なるべく言いなおしをするな。間違っただけで結構。

「しゃべくり」のリズムを壊さずに、どんどんしゃべる。

ゆっくり、はっきりしゃべる。

3 質疑応答

質問が一つもなかったら、あなたの講演は聴衆に理解されなかったか、あるいは聴衆の興味をひく内容に乏しかった。

十分に気持ちを沈めて、相手がなにを聞いているかを確実に把握し、答一発で相手を納得させるには、どう答えたらよいかを迅速に考えて答えを出す。

質問されたことの意味がわからないとき、質問者にもう一度確認して、質問を理解してから答える。

プレゼンテーション基礎・その2

1 .発表全般について

話し方を組み立てる .

◇ 知らないことは伝えられない . 自分の得意分野を持った上で , その周辺まで知っていることが望ましい .

話にメリハリをつける .

◇ 初めに問題提起を行い , 聞き手の注意を引き付けなければならない .

◇ 要旨 , 結論を先に述べて , 発表全体の大枠を見せる . この大枠は発表全体を通じて繰返し示すことも重要である .

◇ 何が大事なのかを示す . 「馬から落ちて落馬した」も時には必要である .

相手の知識が何であり , 相手が何を知りたがっているかに配慮する .

重要なことに声を大きく , ゆっくりとしゃべる . 話し方にメリハリをつける (一本調子は聞きづらい) .

図 , 表を効果的に用いる . 見せることは話すことより印象が強い .

ジェスチャーを効果的に用いる (ボディーランゲージは重要である) .

グループ全員発表をすること .

発表時の各自の担当を相談して決めておく . ただ立っている人が出ないように .

2 .OHP 作成

発表資料を作成する前に , どのように資料を作成するか , まず , 全員で相談してアウトラインを決めておく . それに沿って , 役割分担を決めて , 各自資料を集めること .

文章を書くとき

◇ 短い文にする .

◇ キーワードが重要 .

◇ 一つの文で複数の事柄を述べる複文はさけ , 単文にする .

◇ 箇条書きにする .

◇ 特定の語句を強調したいときは , アンダーラインを引いたり , 別のフォントにしたりする .

◇ 句読点を適当に使う .

◇ 漢字 , ひらがな , カタカナ , 英字のバランスを取り , メリハリをつける .

◇ 「読ませる」のではなく「見せる」

図・表

◇ レイアウトを工夫する .

◇ レイアウトに一貫性を持たせる . 重要なことを囲ったり , 色づけしたりする .

◇ 小さすぎないこと .

- ◇ 一目見て内容が理解できる図・表であることが望ましい。
- ◇ データの信憑性，客観性を示すために，その出典を明記する。

3 .話し方

ゆとりを持ってわかりやすく。

- ◇ 上手に話すよりわかりやすく話す。
- ◇ イメージを捉えてゆっくり話す。
- ◇ 自信のある話し方をする。
- ◇ 言い訳は禁句にする。
- ◇ デメリットを敢えて強調することはしない。

導入に工夫する。

- ◇ 説明に入る前に全容を示す。順序を立てる。ポイントの数を予め示す。
図・表はゆっくり，ポイントを説明する。
- ◇ この図・表で何がわかり，何を言いたいかを示す。

4 .リハーサル

あがらないためにもリハーサルをすることが重要である。

臨場感を持ったリハーサルを行う。

参加者の注意を引き付ける工夫ができているかに注意する。

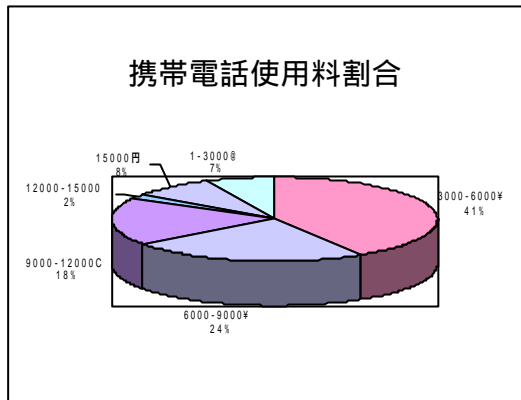
組み立ての工夫があるかをチェックする。

まとめを大事にする。

結論を覚える。締めくくりの言葉はしっかり覚える。

5 .いくつかの例

例 1



上のスライドには、使用料金の算出方法は明記していない。

例 2

目次

- 1 . 使用可能地域について
- 2 . 待ち受け時間について
- 3 . 連続通話時間について
- 4 . 変えなくてもOK
- 5 . データの通信速度について
- 6 . 音声の美しさについて
- 7 . 無線データ通信の種類と進展
- 8 . H について
- 9 . 結論

上の説明の目次は細かすぎる。(目次の内容は4~5 ぐらいまでにすること.)

例 3

データの通信速度について...

データの通信速度については右図を見てもわかるように、携帯は9.6kbpsでPHSは32kbpsと明らかにPHSの方が早い。このため、PHSを使ってデータ送信をするとPHSの方が早い。

	携帯電話 (デジタル)	PHS
基地局エリアの半径	1.9km~数km	100m~500m
利用周波数	800MHz/1.5GHz	1.9GHz
出力電力	0.6~1W	100mW
サービスエリア	広域(都市内は平面的)	都市内(点対点)
通話方式	独自網	ISDN 網を利用
通話中の移動 (レシオナー)	高速移動が可能	保証しない
通信相手の制限	なし (個人と個人、個人と企業)	ある (PDAIS 方式)
データ伝送速度	9.6kbps (MTT1 型: 8.1kbps、クマコ) 28.8kbps (DTT1 型: 11.5kbps、通信)	32kbps
基本料・通話料	PHS より高額	携帯電話より低料金

この辺の文章が多い。もう少し簡潔にまとめるべき。たとえば、次のようにする。

通信速度

携帯： 9.6kbps

PHS： 32kbps

PHSの方が速い

例 4

結 論

以上から、

- 地下でも使用できる場所
- 待ち受け時間・通話時間の長い場所
- データ通信速度の早い場所
- 音声の品質のよい場所
- 使用料金が安い場所

などにより、**PHS**の方が携帯より**優れている!**

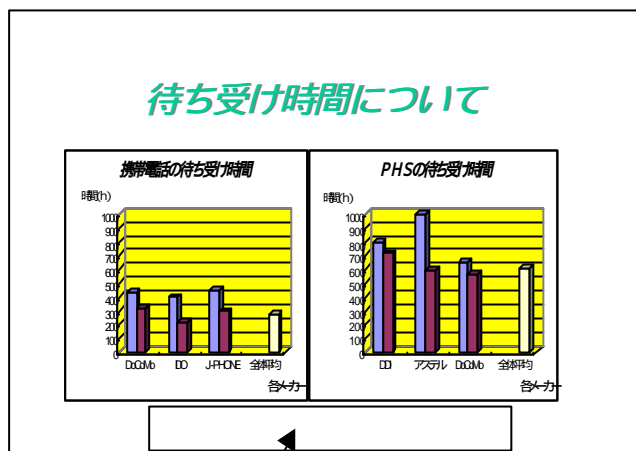
結果は最初に述べるべき。たとえば、次のようにする。

結 論

PHSの方が携帯より**優れている!**

- 地下でも使用できる場所
- 待ち受け時間・通話時間の長い場所
- データ通信速度の早い場所
- 音声の品質のよい場所
- 使用料金が安い場所

例 5



比較した結果をここに明確に書くべき。

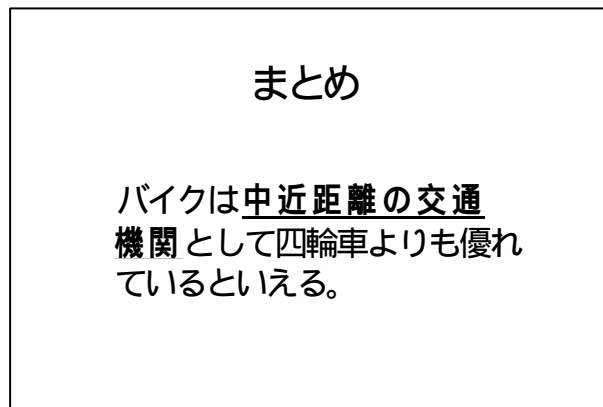
例 6

経済性

- ・二輪車は価格が
乗用車に比べて安い。
維持費が安い。

具体的に、データを出して比較すれば、もっと説得力がある。

例 7



発表に触れていないことはまとめには書かないこと。

例 8



すべてのページにタイトルをつけること。